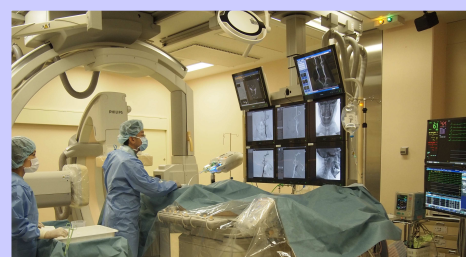




奥州金ヶ崎地域で脳血管内治療を開始

血管撮影装置が新しくなりました

念願でした当院の血管撮影装置が、平成27年10月に最新鋭の器械に更新されました。脳血管内治療は、今までは盛岡や仙台まで行かなければ受けられませんが、全国で広く行われている心臓血管領域のインターベンションのように、当院でも脳血管障害が血管の内腔からカテーテルで治療することが可能となります。



脳血管撮影検査を行う菊池脳神経外科長



院内各診療科で幅広い用途に活躍できる最新鋭の血管撮影装置

もちろん血管内治療以外の脳神経外科の手術も行っておりますので、症例に応じて適切な治療法を選択します。

最後になりますが、導入された器械は脳血管内治療にしか使用できないものではありません。下肢閉塞性動脈硬化症に対するステント留置術、透析内シャント狭窄に対するPTA、肝動脈塞栓、難治性鼻出血や骨盤骨折の止血などにも有用ですので、当院全体で大切に且つ有効に活用していきたいと思っております。

低侵襲的でありながら従来の治療と同等な成績が報告されていますので、高齢者の多い当地域で、以前は治療適応外とされていた症例も救う手段となり、本県の脳卒中死亡率最下位からの脱却に貢献したいと考えております。

きくち としお
脳神経外科長 菊池 登志雄

岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療(専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療)
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

<病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます

臨床検査科



石川臨床検査技師長（前列中央）とスタッフのみなさん

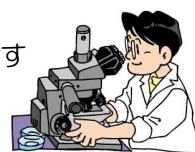
いしかわ ひろのぶ

臨床検査技師長 **石川 弘伸**

当検査科では臨床検査技師18名、検査補助者1名で業務を行っています。主な業務は大きく分けて、患者さんから採取された血液、尿、喀痰などを検査する検体検査と、患者さんを直接検査する生理検査の2つに分けられます。

検体検査はさらに6部門に分けられます。

- ①生化学・免疫学的検査：血液中に含まれる酵素や脂質など各臓器の状態や免疫機能を検査します
- ②血液検査：血液中の赤血球や白血球などの数や貧血の程度、炎症の程度を調べます
- ③一般検査：尿や便中の赤血球・糖・細菌の程度を検査します
- ④輸血検査：安全な輸血を行うために血液型や交差適合試験を行います
- ⑤細菌検査：血液や喀痰から病気の原因菌を見つけ、その菌にどの薬が効くかどうかを検査します
- ⑥病理検査：手術や検査で摘出した臓器や組織から標本を作成し、顕微鏡で詳しく観察し病気の診断を行います



生理検査は心電図検査、24時間心電図検査、呼吸機能検査、超音波検査（心臓・腹部・頸部）、脳波検査、聴力検査、睡眠時無呼吸症候群の検査など項目は多岐にわたります。

各部門において検査の精度と質を維持するため内・外部精度管理調査に参加しています。また、信頼される臨床検査データを提供できるよう各種認定資格の取得や学会・講習会に参加し、知識・技術の習得にスタッフ一同で努めています。

シリーズ

ひとからひとへ

～前号の花田さん(SPD業務)からノットタッチ!～



さとう かつや

氏名：佐藤 勝也

職名：地域医療福祉連携室主任

出身：奥州市水沢区

経歴：昭和60年県立宮古病院を振り出しに、大槌病院、大船渡病院、大東病院、久慈病院を経て胆沢病院勤務

趣味：アメリカンコミックス収集（主にDCコミックス）、映画鑑賞

Q. 今年度、力を入れている業務について教えてください。

A. 地域医療福祉連携室勤務2年目となり、連携業務の課題がいろいろと見えてきました。その中でも、紹介状への返書に対する苦情（返書がなかったり、遅かったりする）があります。返書の管理について運用を検討し、システムの構築に現在取り組んでいるところです。また、今年度の新規事業として「出前医療講演」をはじめました。将来的に奥州医師会と共同で行う院長の構想があるようです。ホームページのリニューアルも検討中で、今年度中の更新を目標に取り組んでいます。

Q. 医療機関へひとことお願いします。

A. 4月から「奥州地域病病診連携症例検討会」を毎月最終木曜日に行っています。紹介に対する経過報告がない、もう少し詳しく経過を知りたい症例などを受け付けています。また、現場の医師同士の顔と顔が見える関係づくりに役立てたいと考えておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。

がん化学療法看護認定看護師の紹介



がん化学療法看護認定看護師



ほそかわ ともこ
細川 友子

この度、平成27年7月に「がん化学療法看護認定看護師」の資格を取得いたしました。現在、外来化学療法室に勤務しております。

がん化学療法看護認定看護師は、抗がん剤の安全な取り扱いと適切な投与管理、患者さんが継続して治療を受けられるよう副作用症状への対応やセルフケア支援を行う役割があります。

抗がん剤を使用した治療には副作用が伴い生活への影響も大きく、苦痛や不安を感じながら病気と向きあわれている患者さんやご家族も少なくありません。複雑な治療を理解するお手伝いをさせていただき、副作用を最大限緩和し安楽に過ごす方法を一緒に考え、長期にわたる治療を安心して受けられるようサポートしていきたいと思っております。また、がん化学療法に携わる看護スタッフが知識を深められるよう指導にも努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

平成27年度 東北DMAT参集訓練@胆沢病院

大地震想定し災害訓練を実施

10月3日、マグニチュード7.5の地震が奥州市で発生、大規模被害が出たという想定で災害訓練が行われました。奥州市内の病院は全てが被災し、傷病者対応ができないという想定のもと、東北各県から災害医療支援チームDMAT (Disaster Medical Assistant Team) が参集。

新潟を含む東北ブロック7県DMATが参集

DMATは災害拠点病院である当院に参集、DMAT拠点本部運営をしつつ、江刺病院、総合水沢病院、奥州病院、まごころ病院の診療応援を行いました。また、傷病者の陸路搬送不可という想定のため、胆沢病院に臨時ヘリポートを設営し花巻空港への傷病者ヘリ搬送も行われました。

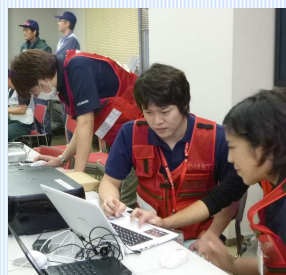
平成20年の岩手宮城内陸地震では実際にDMATが参集しています。実災害がないことを祈るのみですが、万が一の場合に備えた実りある訓練ができたと考えております。

人工透析科長（日本DMAT隊員 統括DMAT）

ただち かずき
忠地 一輝



胆沢病院内のDMAT拠点本部



インターネットで各病院の被災状況を確認



胆沢病院から花巻空港へ傷病者ヘリ搬送



赤傷病者エリアでミーティング



7県の53病院からDMAT58チーム350人、自衛隊、消防、医療機関など合わせて900人が参加した大規模な連携訓練でした。
～訓練に参加いただいた皆さま、本当にお疲れ様でした！～

胆沢病院でダビンチ手術始まる

見学希望の先生方は泌尿器科までお知らせください！

本誌8月号でダビンチ手術開始までに必要なトレーニングについて解説しました。胆沢病院の手術チーム（チーム・ダビンチ）は、平均3ヶ月かかる全トレーニングを2ヶ月で終え、その後もシミュレーションや個人トレーニング、手術ビデオ鑑賞などを繰り返して9月某日よいよ本番を迎えました。

ダビンチ手術には、手術開始後もノルマが課せられており、はじめの10症例は指導医の指導の下で行うか、または他の施設に行って手術を見学してこななければなりません。折しも日本泌尿器内視鏡学会はダビンチ手術のプロクター（指導医）制度を立ち上げたばかりで、今春プロクターに認定されたのは、ほとんどが教授、准教授クラス。とても気安くお願いできない方ばかりですが、何人かの先生方が快く指導を引き受けてくださり、なんとかクリアすることができました。回を重ねるごとに難しさや奥深さを感じながらも、チーム全員で進化中です。

当面は毎週火曜日1件行う予定で、すでに予約待ちは3~4ヶ月。見学希望の先生方や関心をお持ちの患者さんなどいらっしゃいましたら、胆沢病院泌尿器科までお気軽にお知らせください。医療を志す子供達にも積極的に実機体験をしてもらっています。



職場体験学習でダビンチ操作を体験する中学生

しもだ じろう
副院長兼泌尿器科長 下田 次郎

退院調整看護師 1名増員

「退院支援・退院調整」体制強化！



一人一人心を込めて支援します

平成27年10月1日付けで地域医療福祉連携室に採用となりました。

独居、高齢世帯の増加により、入院によって自宅退院に不安を抱え介入が必要となるケースが多くなっています。早期から介入することで少しでも不安を軽減し、安心して退院・転院出来るよう関わっていきたくと思っています。ご指導・ご協力よろしくお願いたします。

退院調整看護師 くぼ あやこ
久保 綾子

医療情報コーナーイベントのご案内

リハビリスタッフによる
プチ講義&体操レクチャー

運動のポイント

～自宅でできる体操・筋トシの紹介と実際～

“がん”やその他医療情報等に関する情報収集・発信の場として、玄関ホール内に「医療情報コーナー」を設置しています。「医療情報コーナー」を広く市民の方々に知っていただく機会になるように、月1回（第4火曜日）イベントを開催しておりますのでご案内いたします。

開催日時 平成27年11月24日（火）
9：30～11：30

開催場所 胆沢病院玄関ホール内
「医療情報コーナー」

申し込み 不要 参加費用 無料



【お問い合わせ先】 担当：地域医療福祉連携室
電話：0197-24-4121（内線1065、1158）

年末年始の診療体制

右記の期間、外来診療（全科） 12月29日（火）
を休診し、当直医師による救急 12月30日（水）
診療体制となります。 12月31日（木）
救急のご紹介は、中央処置室に 1月 1日（金）
ご連絡をお願いいたします。 1月 2日（土）
1月 3日（日）



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢区字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180（地域医療福祉連携室専用）

URL <http://www.isawa-hp.com/>